



葬前、頭を下げる小さん師匠。12日午後、東京・青山葬儀所で

ファン含め 千人が焼香

故内生師匠の葬儀

さる三日亡くなった落語家、三遊亭内生師匠（落語三遊協会会長）の葬儀と告別式が十二日午後、東京都港区南青山の青山葬儀所で行われた。亡くなる当日まで高座をつとめた師匠を最後送るよう、会場にはいまにも降り出しそうな

偏頗の遺影が飾られ、劇作家の宇野浩二氏（葬儀委員長）らが弔辞を読み、故人をしのんだ。

昨年の落語協会分裂騒ぎで対立した柳家小さん師匠（落語協会会長）は、最近の「雷どけムード」を推し進めるかのように「しゃはのわずらわしいことはいっさい忘れて、ゆっくりお休み下さい」と遺影に語りかけていた。

参列者は各界に及び、ファンも含めて約千人が焼香した。